



研究推進の取組

探究的な学びを中核とした
「学びの変革」カリキュラム
研究開発事業



竹原市立吉名学園

研究の概要

探究×○○○

探究 × 共創

研究テーマ

主体的に学び、自分の言葉で語る児童生徒の育成
～「共創」の視点に立った単元開発及び実践を通して～

研究の概要

研究主題

主体的に学び、自分の言葉で語る児童生徒の育成

～「共創」の視点に立った単元開発及び実践を通して～

児童生徒が自ら求め、「学び」を創る

「自立した学び」の実現

「共創」の視点に立った単元
づくり及び実践

- 単元の三つの型
- 単元づくりの五つの
ポイント

児童生徒に
とって充実
した**活動**を
通して

資質・能力
の育成を
実現する

系統的に育成を目指す資質・
能力の設定

- 「YOSHINA未来学」で
育成したい力の設定
と系統化

地域の材(財)を扱い

研究の概要

研究主題

主体的に学び、自分の言葉で語る児童生徒の育成
～「共創」の視点に立った単元開発及び実践を通して～

児童生徒が自ら求め、「学び」を創る

「自立した学び」の実現

「共創」の視点に立った単元
づくり及び実践

- 単元の三つの型
- 単元づくりの五つの
ポイント

児童生徒に
とって充実
した**活動**を
通して

系統的に育成を目指す資質・
能力の設定

- 「YOSHINA未来学」で
育成したい力の設定
と系統化

資質・能力
の育成を
実現する

教材(財)を扱い

共通の視点に基づいた単元づくり

単元の三つの型



夢実現型

個人や学級の思いや願いの実現を図る。



提言型

学校や地域の課題に対して、個人や学級で考えた解決策を提言する。



貢献型

学校や地域の課題解決に向けて行動する。

「やってみたい」「なんとかしなければ」

共通の視点に基づいた単元づくり

単元づくりの五つのポイント

思いや願いに基づく挑戦



児童生徒の思いや願いを基にプロジェクトを立ち上げる。思いや願いに沿って思い切った活動・挑戦ができるように、教師の支援は必要最小限とする。

高い壁との出会い



活動を進めていく過程で出合う高い壁（失敗・困難）を取り除かず、意図的に出合わせ、解決に向けて試行錯誤する場を設ける。

再挑戦の場の設定



失敗を失敗のままで終わらせるのではなく、再挑戦の場を与えることで、困難や苦勞を乗り越えた先に得られる達成感・満足感を味わわせ、自信をもたせる。

巻き込む活動



実生活・実社会の課題を解決するには、大人との協働が不可欠である。子供主導の活動に大人や地域を巻き込むことで、より「本物」の探究に近づく。

「本物」からの学び



実際に取り組んでいる人、一流の人から学ぶことで、学びを充実させることができるとともに、その方の生き方に触れることで、児童生徒がよりよい生き方を考えることにつながる。

研究の概要

研究主題

主体的に学び、自分の言葉で語る児童生徒の育成

～「共創」の視点に立った単元開発及び実践を通して～

児童生徒が自ら求め、「学び」を創る

「自立した学び」の実現

「共創」の視点に立った単元
づくり及び実践

- 単元の三つの型
- 単元づくりの五つの
ポイント

児童生徒に
とって充実
した活動を
通して

資質・能力
の育成を
実現する

系統的に育成を目指す資質・
能力の設定

- 「YOSHINA未来学」で
育成したい力の設定
と系統化

育成したい力の設定と系統化

未来を拓くスキル

英語力

ICT活用力

プレゼンテーション力

学校教育全体で育成するが、柱となるのは「**YOSHINA未来学**」(生活科・総合的な学習の時間)

「YOSHINA未来学」で育成したい力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 知識 イ 技能 (主としてICT活用力) ウ 探究的な学習のよさの理解	エ 課題を発見する力・企画する力 オ 活動を計画・推進する力 カ 情報を収集する力 キ 整理・分析する力 ク 表現する力 (主としてプレゼンテーション力) ケ 発想する力・工夫する力 コ 評価する力	サ 挑戦する力・やり遂げる力 シ 協働する力 ス 将来を設計する力
セ 英語力		

育成したい力の設定と系統化

「YOSHINA未来学」で育成したい力の系統化

		第Ⅰ期（1・2年）		第Ⅱ期（3・4年）		第Ⅲ期（5・6・7年）			第Ⅳ期（8・9年）	
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
(1) 知識及び技能	ア 知識 (含：探究的な学習のよさの理解)	ア 学校の人やもの、自然、自分自身に関する気付きをもつことができる。	ア 学校周辺の人やもの、自然、自分自身の成長に関する気付きをもつことができる。	ア 地域のよさや地域に住む人々の思いや願いを理解することができる。	ア 地域の食材のよさと課題、携わる人々の願いや工夫、努力を理解することができる。	ア 地域の自然のよさや課題、その保全に携わる人々の願いや工夫、努力を理解することができる。	ア 地域の歴史や伝統文化のもつ特徴、継承に力を注ぐ人々の願いや努力を理解することができる。	ア 生産や販売に関わる知識、様々な職業のよさと課題、携わる人々の願いや工夫を理解することができる。	ア 様々な職業のよさや課題、携わる人々の願いや工夫、努力を理解することができる。	ア 地域のよさや課題、地域活性化に向けて取り組む人々の思いや願い、工夫を理解することができる。
	イ 技能 (主として ICT 活用力) A：情報収集・処理 B：画像・動画の撮影・編集 C：情報発信	イ A 必要な情報を収集するために、キーワードでのウェブ検索をすることができる。 B デジタルカメラや端末のカメラアプリなどを用いて、写真や動画の撮影ができる。 C プレゼンテーションアプリを用いて、写真を入れて、プレゼンテーション資料を作成することができる。 ※文字入力の方法は主として手書き入力（音声入力可）		イ A 必要な情報を収集するために、キーワードでのウェブ検索をしたり、アンケートアプリを用いてアンケートを作成して実施したりすることができる。表計算アプリを用いて、表に数値を入力して情報を整理し、教師の助言を受けてグラフを作成することができる。 B 写真や動画の撮影ができる。画像のトリミング、明るさの調整などの画像編集ができる。動画編集アプリを用いて、撮影した動画をつなげたり、文字やイラストを入れたりして、簡単な動画を作成することができる。 C 文書作成アプリやプレゼンテーションアプリを用いて、編集した写真や動画、ローマ字入力で書いた簡単な言葉を入れて、文書やプレゼンテーション資料を作成することができる。 ※文字入力の方法は主としてローマ字入力		イ A 必要な情報を収集するために、複数のキーワードでのウェブ検索をしたり、アンケートアプリを用いてアンケートを作成して実施したりすることができる。表計算アプリを用いて、表に数値を入力して情報を整理し、自分で目的に合わせたグラフの形式を選択して作成することができる。 B 写真や動画の撮影ができる。画像のトリミング、明るさの調整などの画像編集ができる。動画編集アプリを用いて、撮影した動画を必要部分だけトリミングし、それらをつなげたり、「分かりやすくする」「印象付ける」などの意図に応じて文字やイラストを入れたりして、動画を作成することができる。 C 文書作成アプリやプレゼンテーションアプリを用いて、レイアウトを選択し、編集した写真や動画、ローマ字入力で書いた言葉を入れて、統一感のある文書やプレゼンテーション資料を作成することができる。また、出典を明記し、責任ある情報発信を行うことができる。 ※文字入力の方法は主としてローマ字入力			イ ABC 第Ⅲ期までに身に付けた技能を基に、目的に応じて、効果的な情報収集・処理、画像・動画の撮影・編集、情報発信を行うことができる。 (第Ⅲ期までに身に付けた技能を高める) ※文字入力の方法は主としてローマ字入力	
	ウ 探究的な学習のよさの理解	ウ 地域の人やもの、自然、自分自身に関する気付きをもつことができる。		ウ 地域のよさや地域に住む人々の思いや願いに関する理解の深まりが探究的な学習をしたことの結果だと気付く。		ウ 地域の自然のよさや課題、その保全に携わる人々の願いや工夫、努力に関する理解の深まりが探究的な学習をしたことの結果だと気付く。			ウ 様々な職業のよさや課題、携わる人々の願いや工夫に関する理解の深まりが探究的な学習をしたことの結果だと気付く。	
(2) 思考力・判断	エ 課題を発見する力 企画する力	エ 人や自然などと直接関わることを通して、気付きや疑問をもったり、行ってみたい場所ややってみようことなどを選択・決定したりすることができる。 ☆イメージマップ		エ 体験活動やインタビューで得た情報や自分たちの興味・関心を基に課題を設定し、課題解決に向けた企画（アイデア）を出すことができる。 ☆イメージマップ		エ 体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報や自分たちの興味・関心、地域の方の思いや願いを基に課題を設定し、課題解決に向けた企画（アイデア）を出すことができる。 ☆イメージマップ			エ 体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報や自分たちの興味・関心、地域の方の思いや願い、社会的な広い視野から課題を設定し、課題解決に向けた企画（アイデア）を出すことができる。 ☆イメージマップ	
	オ 活動を計画・推進する力	オ 自分のやってみようことを思い描きながら、計画を立て、活動を進めることができる。		オ 課題解決に向けて、教師の助言などを基に、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、活動を進めることができる。 ☆ステップチャート		オ 課題解決に向けて、教師や地域の方の助言などを参考に、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見直しをもって計画的に活動を進めることができる。 ☆ステップチャート			オ 課題解決に向けて、自分（たち）で、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見直しをもって計画的に活動を進めることができる。 ☆ステップチャート	
	カ 情報を収集する力	カ 諸感覚を生かして対象と関わったり、自分の興味・関心に基づいて情報を収集する。		カ 事前に考えた計画（質問内容など）に沿って、観察やインタビューなどを用いて情報を収集する。		カ 事前に考えた計画（質問項目など）に沿うだけでなく、その場での気付きを基に別の観点で観察したり、追加の質問をしたりして、より詳しい情報や真偽を確認しながら、図書資料などを活用して情報を収集する。			カ 目的に応じて適切な情報収集の方法を選択し、事前に考慮し、その場の反響や状況に応じて、情報収集を進めることができる。	
	キ 体験を思い起こしたり、情報を比較・分類したり、特徴を見付けたりする力	キ 様々な情報を、比較・分類したり、特徴を見付けたりする。		キ 様々な情報を、比較・分類して、特徴を見付けたりする。		キ 様々な情報を、比較・分類したり、関係付けたりして、特徴などを見付けたりする。			キ 様々な情報を、比較・分類したり、順序付けたり、関係付けたりして、特徴などを見付けたりする。	

育成したい力の設定と系統化

「**学校教育全体**」で育成したい力の系統化

才 活動を計画・推進する力

ク 表現する力

サ 挑戦する力・やり遂げる力

(2)思考力・判断力・
表現力等

(3)学びに向かう力
人間性

探究×共創の3つの視点



子供との共創



保護者との共創



地域との共創



子供との共創

- 子供と共に単元を創る
- 異学年との共創
- 異学年との共創の場を増やす縦割り班活動



子供との共創

・子供と共に単元を創る

「**やってみたい**」「**なんとかしなければ**」という
思いや願いから単元がスタート



4年生

吉名のじゃがいもを
手に入れて、美味しい
か確かめたい!



子供との共創

・子供と共に単元計画を作成



4年生
じゃがいもの収穫体験
じゃがいもの食べ比べ

⇒ 「吉名のじゃがいも」
をPRしたい!



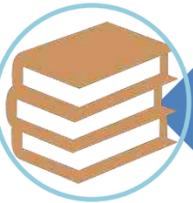
3年 吉名町のよさを発見して伝えよう
～吉名地域PRプロジェクト～



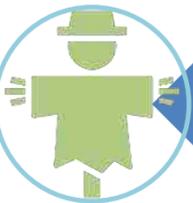
4年 吉名のおすすめの食を伝えよう
～吉名のおいしいじゃがいもPR大作戦～



5年 吉名の海の生き物PRプロジェクト
～吉名の海の生き物を調べて紹介しよう～



6年 吉名町の歴史を調べて伝えよう
～歴史秘話探索プロジェクト～



7年 自分たちの力で野菜を生産販売して吉名町を盛り上げよう
～吉名町発展プロジェクト～



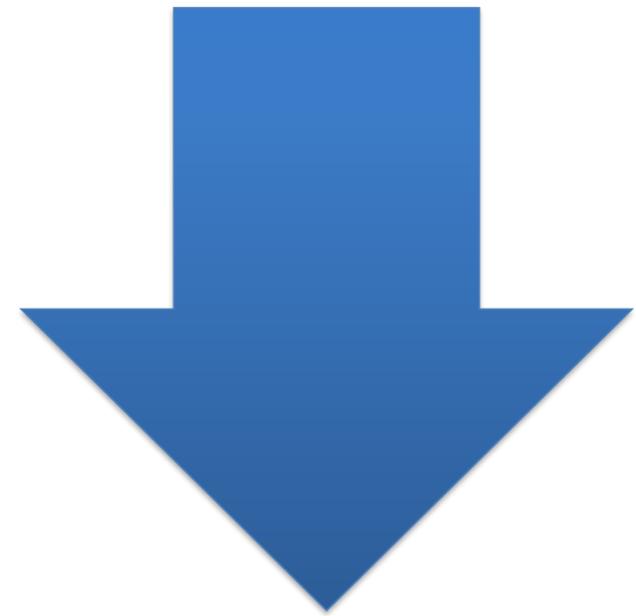
8年 職場体験プロジェクト
～吉名に働く人に学ぼう～



9年 吉名未来地域創造プロジェクト
～わたしたちの力で吉名の町を盛り上げよう～

共通の目的

「吉名町を盛り上げる」



異学年との共創へ



子供との共創

・異学年との共創

4年生

「吉名のじゃがいも」が
美味しいことをPRしたい!

7年生

「吉名のじゃがいも」を
生産・販売して吉名町を
盛り上げたい!



異学年との
共創へ





子供との共創

・異学年との共創

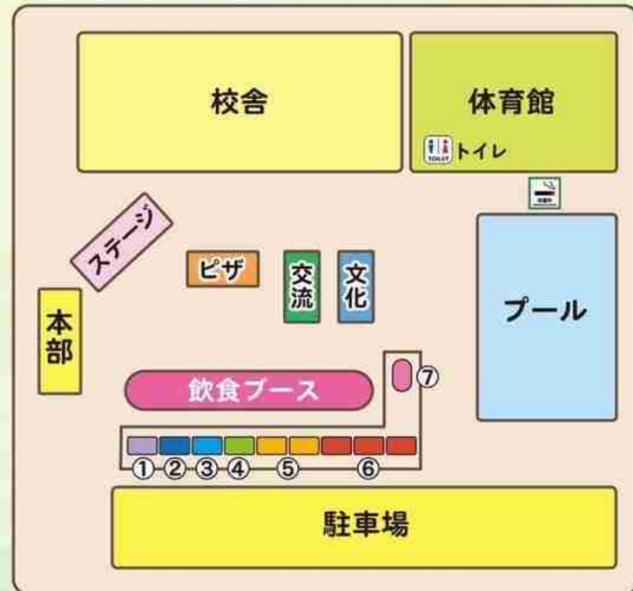
9年生

吉名フェスティバルを通して、
吉名町を盛り上げたい！
吉名町の地域資源の魅力を
吉名町外の方にも知って
もらいたい！



吉名フェスティバル

2025年
日時 1月26日(日) 10:00 ~ 16:00 場所 旧吉名小学校
第一駐車場 旧吉名小学校 第二駐車場 竹原市立吉名学園



吉名学園9年生オリジナルブース
セレクトピザ(もち明太子or照り焼きチキン)
pizza enの生地を松本煉瓦の窯で焼いた特製ピザ！
交流
竹を使った昔ながらの遊びで交流しよう♪
景品がもらえる射的ゲームも実施！
文化
レンガ、じゃがいも、池田勇人、カブトガニ、吉名こども園 園児の作品など吉名町の誇る文化を紹介

- 飲食ブース**
- ① N house
 - ② のんびり亭
 - ③ NicoRA
 - ④ 農家レストラン西野
 - ⑤ 肉の義
 - ⑥ 吉名学園7年生じゃがいも料理
 - ⑦ Bar Roberta
 - 福幸
 - ⑧ 竹原市観光協会事業委員会
 - ⑨ あさひチョコレート工房(キッチンカー)

ステージイベント

- 10:00 ~ 開会・モニュメントの披露
- 10:10 ~ 吉名こども園の園児はっぴよう
- 10:35 ~ 3・4年生 ソーラン節
- 10:55 ~ 3年生 和太鼓演奏
- 11:15 ~ ダンサー&振付師によるダンスレッスン
- 11:50 ~ 大道芸人 れもん
- 12:10 ~ 広島大学ラブライブ同好会はじミラクル
- 12:30 ~ 琉球太鼓
- 12:55 ~ しほのぶ
- 13:35 ~ 吉名学園9年生トークショー
- 14:10 ~ 抽選会
- 15:00 終了

吉名産焼きガキふるまい

限定600食
新鮮な地元産の牡蠣をぜひ！

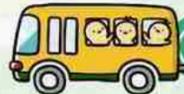


豪華賞品が当たる！抽選会

リファのドライバー、ニンテンドースイッチほか豪華賞品勢ぞろい！



当日は吉名学園⇄会場で送迎あり！



ドライバーのお客様の飲酒を固くお断りしております。お車でのお越しの方も多いかと思いますが、飲酒運転撲滅にご協力ください。

お問合せ 竹原市立吉名学園 ☎ 0846-28-0205

子供との共創

吉名町の歴史や文化を知ってもらおうブースを設置



3年生
「吉名の宝」を色々な
方にPRしたい!



4年生
「吉名のじゃがいも」の
美味しさをPRしたい!



子供との共創

吉名町の歴史や文化を知ってもらうブースを設置



5年生

「吉名の海に住む生物」
を知ってもらいたい!



6年生

「吉名の歴史や伝統」を
知ってもらいたい!



子供との共創

飲食ブースに7年生のブースを設置



7年生

吉名のじゃがいもを生産・販売して吉名町を盛り上げたい!



子供との共創

吉名町の歴史や文化を知ってもらうブースを設置



共通の目的
「吉名町を盛り上げる」

異学年との
共創へ



子供との共創

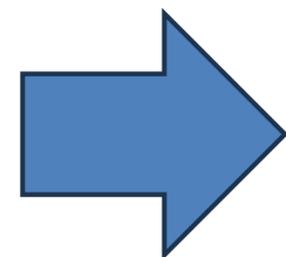
- ・異学年との共創の場を増やす縦割り班活動



学校の諸課題について話し合う
生徒指導集会



異学年との交流を深める
フレンドタイム



学年を超えての関係性の構築

共創へ



保護者との共創

地域



保護者



働く人



入学



進級



卒業

入学から卒業まで
ずっと共創



保護者との共創

- 学校評価アンケート
- 目指す子供のゴールの姿の共有
- 学校行事等の挨拶等で理念の共有



保護者との共創

・学校評価アンケート

	中間(9月)	最終(1月)
学校は、総合的な学習の時間等において、地域の材をいかした教育活動を通して児童生徒の資質能力の育成を図っている。	91.6%	84.5% (-7.1 pt)
学校の進めている「探究的な学び」(YOSHINA未来学)は、児童生徒の自立的な学びの促進に効果があると感じている。	80.2%	82.5% (+2.3 pt)



保護者との共創

- ・目指す子供のゴールの姿の共有
- ・学校行事等の挨拶等で理念の共有

大岡っ子のすがた 5・6年

<p>「人・ものこと」のよさが分かる</p> <p>A1</p>	<p>目標や課題を見つけ、解決の見通しをもつ</p> <p>B1</p>	<p>ねばり強くとり組む</p> <p>C1</p>
<p>問題を解決するために、一番よい方法が分かる</p> <p>A2</p>	<p>必要な情報を集める</p> <p>B2</p>	<p>自分から進んで「人・もの・こと」にかかわる</p> <p>C2</p>
<p>それぞれの教科で身につけた技を使う</p> <p>A3</p>	<p>色いろな面から考えて、よりよい案をつくり出す</p> <p>B3</p>	<p>おたがいのよさを生かしてよりよいものをつくらうとする</p> <p>C3</p>
	<p>相手や目的に合わせて伝えたいことを分かりやすく表現する</p> <p>B4</p>	

154総合的な学習の時間・総合的な探究の時間「どうしてですか？総合的な学習・探究の時間の学習指導と学習評価」講座
 (横浜市立大岡小学校 主幹教諭 紺野 達也) 講師資料

入学から卒業まで
 ずっと共創



地域との共創

- 学校運営協議会で目指す子供像の共有
- 地域の人的・物的な資源の活用



地域との共創

・学校運営協議会で目指す子供像の共有



学校長と研究主任から

・育成したい資質・能力

・今年度の研究内容

共創に向けて
理念の共有



地域との共創

・地域の人的・物的な資源の活用



9年生
祭りの実現・協力をお願いする
プレゼンテーション



6年生
バスツアーに向けて、ガイドの
内容を発表



地域との共創

・地域の人的・物的な資源の活用



8年生
「吉名で働く人」にインタビュー



8年生
YCCで学んだことを
プレゼンテーション



地域との共創

・地域の人的・物的な資源の活用



2・7年生
吉名町の農家の方



9年生
竹原市観光協会事業委員会

アンケート結果

育成したい力の設定と系統化

「**学校教育全体**」で育成したい力の系統化

才 活動を計画・推進する力

ク 表現する力

サ 挑戦する力・やり遂げる力

(2)思考力・判断力・
表現力等

(3)学びに向かう力
人間性

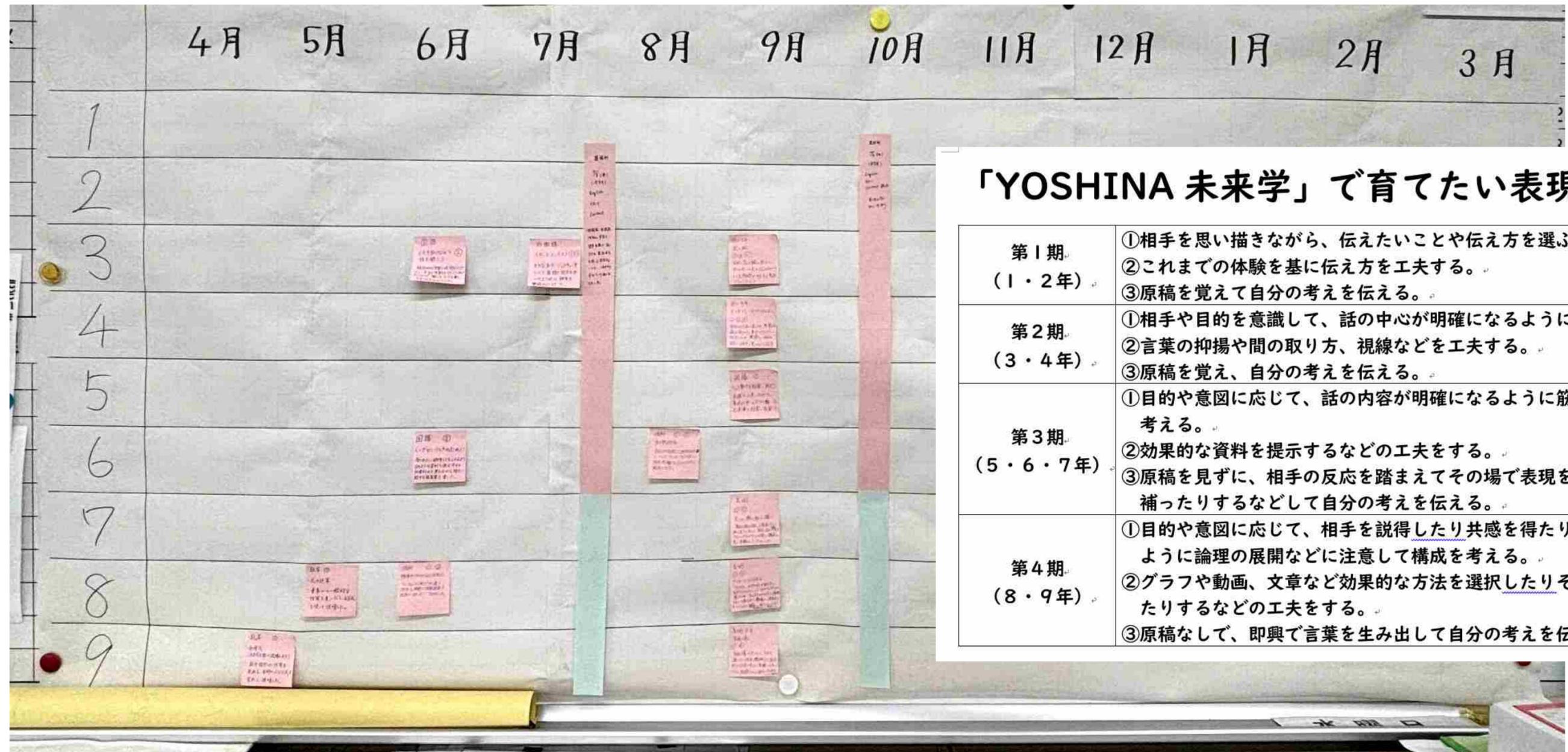
資質・能力をつないでいくことを重視

「**学校教育全体**」で育成したい力の系統化

- ・ 目指す子供のゴールの姿は？
- ・ 各教科における「表現する力」とは？
- ・ 特にどの単元で？

取組の見える化

⇒ 各教科で連携した取組



取組の見える化

⇒ 各教科で連携した取組

先生方へ

児童生徒の**表現力**を育成した(発揮された)単元(題材)名を付箋に書いて貼って行ってください。

理科 ①
科学研究
自分の科学研究を、筋道の通った構成を考えながら、プレゼンを行った。

①教科
②系統表を基に番号を記入
③単元名
④具体的な内容

・数学 ①

・式の計算

・事象から一般的な性質を見だし、文字式を使って説明した。

国語 ②

いざというときのために多くの人に納得してもらえよう。どのような資料を提示すると効果的かを考えながら、防災に関する提案書を書いた。

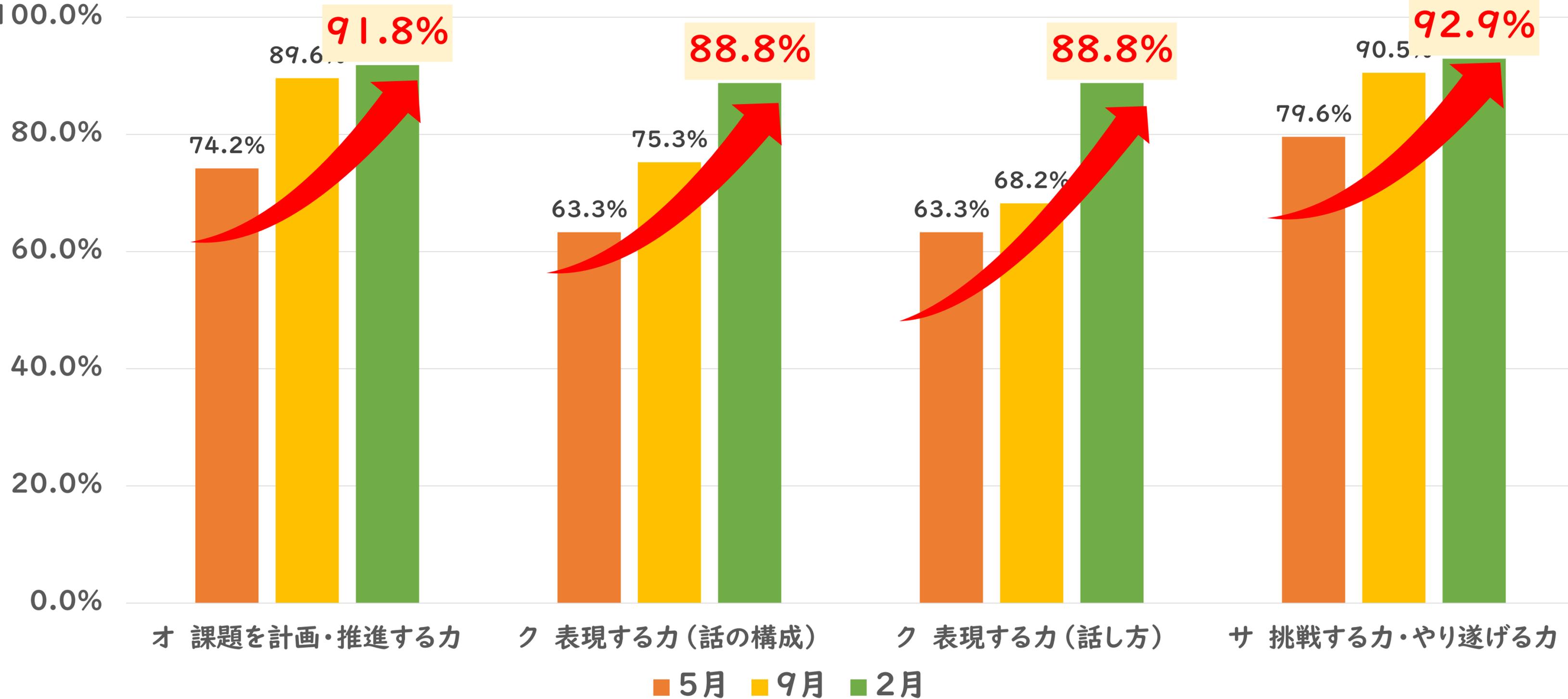
美術

① ③

メッセージを伝える。

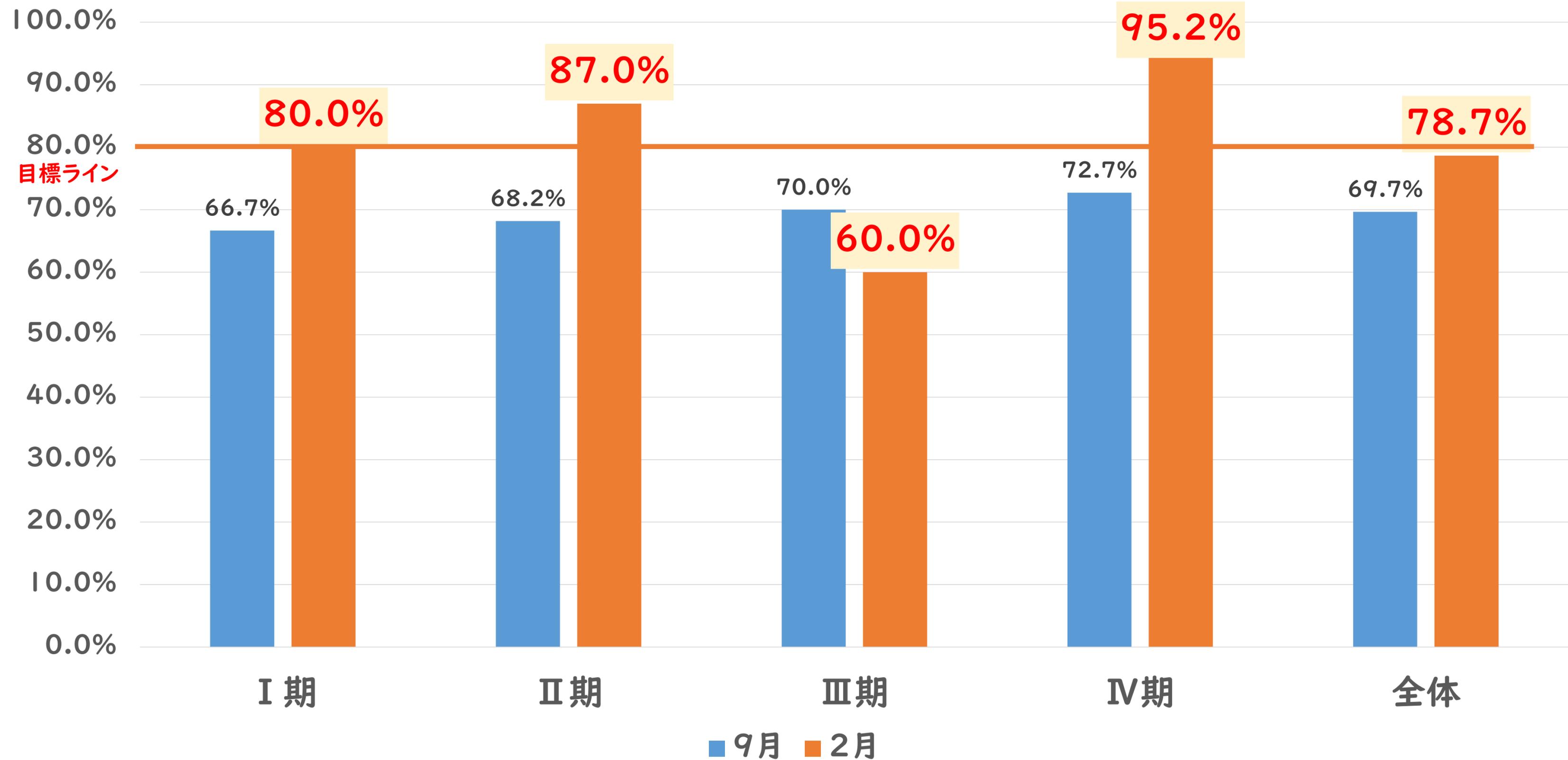
「SDGs」のポスターを制作し、自分で伝えたいこと、好きそのテーマを選んだのか、伝え方ための工夫を根拠をもとに振り返り、整理し、発表会でキーワードごとに構成し、順番に伝えよう原稿をたてて発表した。

学園全体のアンケート結果（5月9月2月の比較）



自分の成長を実感した児童生徒の割合

(5月より肯定的な回答をした児童生徒の割合)



成果と課題

成果

- カリキュラム・マネジメントに取り組むことで、「単元の学習内容を身に付けさせる」という考えから、目指す子供像を踏まえ、資質・能力の育成という視点も意識して教材研究を行うことができるようになってきた。
- 学校運営協議会の方と共にYOSHINA未来学の取組について考えることで、地域の人的・物的な資源を把握し、教育活動に生かすことができた。
- 地域の方だけでなく、様々な専門家を巻き込みながら課題を解決していくことで、児童生徒は新たな視点をもち、課題解決に向かうことができていた。
- 目的に共通点がある異学年との共創が増え、お互いがよい刺激を受けながら学習を進めていくことで、熱量の高まりが見られた。

課題

- PDCAサイクルによる取組を各学年に任せてしまうことが多く、それぞれの学年の成果を生かしたり、支援し合ったりすることが十分ではなかった。それぞれの成果や課題を生かし合い、高め合うことができる校内体制を作っていく。
- 育成したい子供の姿を子供だけでなく、地域、保護者とも共有し、吉名の地域全体での共創として子供の資質・能力を育成していけるようにする。
- 5月よりも自分の成長を実感した児童生徒の割合は9月と比べて上昇しているものの、学年によるばらつきが見られる。全学年が共通して児童生徒の成長を実感できるよう働きかけを行っていく必要がある。

お知らせ

公開研究会

令和7年11月20日(木)午後

講師: 甲南女子大学 教授 村川 雅弘 氏



**児童生徒も、教員も、
ドキドキ、ワクワクする探究的な学びを！**

